

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ (ver1.3)

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	脳動脈瘤塞栓術におけるバルーン付きガイディングカテーテル使用と術中破裂後の予後の関連 The Role of Balloon guiding catheters in Intraoperative rupture during coil embolization of intracranial aneurysms study (ROLEBGC study)	
1. 研究の目的と方法	脳動脈瘤塞栓術中における脳動脈瘤破裂時のバルーン付きガイディングカテーテルの使用の有用性を調査する。中村記念南病院より、脳動脈瘤塞栓術中の術中破裂数と手術情報および破裂時の対応および予後に関する情報収集を行い、バルーン付きガイディングカテーテルの使用の有用性を検証します。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	頭蓋内脳動脈瘤の患者さんで、2003年1月1日～2024年12月31日の間に中村記念南病院にて脳動脈瘤塞栓術の治療を受けた18歳以上の方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、治療時の手術機材情報、術前後の患者さんの状態、予後について
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名 中村記念南病院 氏名 遠藤英樹
	(2)当施設の長	中村記念南病院 岡 亨治
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	中村記念南病院 脳神経外科 遠藤英樹
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	東京慈恵医科大学 脳神経外科学講座 石橋敏寛
【問い合わせ先】	中村記念南病院 脳神経外科 遠藤英樹 電話番号：011-573-8555	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。